

直方文化財散歩・記念碑巡り
上頓野・頓野の青年団記念碑

青年団の歴史

青年団は「新明解百科語辞典」(三省堂1991年初版)では次の通り定義されています。

「一定地域に住む青年によって組織された自治団体。戦前は国家統制のもとにおかれたが、戦後は民主的団体として再発足。」

その歴史は古く、江戸時代には各村落ごとに若者組・若衆組などの名称で村における祭礼行事や自警団的活動などを担っていました。また道路・橋梁・堤防などの公共工事への参加や一人前の大人になるための自主教育の場でもありました。

明治維新後の近代国家建設により伝統的な若者組は消えていきましたが、日露戦争後に内務省・文部省の指導のもとで全国的な青年団体の再組織化が進み、戦時色が強まると統制が強化されました。

戦後の青年団活動の盛衰

先の大戦の終戦後、全国各地で青年団の再結成が進み昭和二十年代

後半には最盛期を迎えて約四百万人が参加していました。

現在地方自治体が主催している成人式も終戦直後に埼玉県の現在の蕨市の青年団が開催した成年式が発祥とされ、数年後に一月十五日が「成人の日」と制定されました(現在は一月の第二月曜日に変更されています)。

昭和三十年代以降の高度成長期に地方青年層の都市への流出が続き、会員数の減少が激しく解散する青年団も多く現在の団員数は約十万人とされています。

上頓野の渡辺正臣(しんご)効(こう)碑

直方市でも上頓野・頓野地区は特に青年団活動が盛んだった地域で、現在も二つの記念碑が残されているので紹介します。

渡辺正臣効効碑は上頓野の八幡神社境内石段の左側にあります。

渡辺正臣(1861～1927)は八幡神社の神官で、明治十八(1885)年という極めて早い時期に青年団活動を組織し、指導しました。

この碑は功労に報いるため明治三十三(1900)年に建立。

頓野村青年団基本田碑



渡辺正臣効効碑
(上頓野 八幡神社境内)

大正三(1914)年に上頓野・頓野・感田の三支会を有する頓野村青年会が発足しましたが、頓野支会の活動が最も活発で、会員が工事で得た賃金で会有的基本田を購入して活動費の財源にあてました。

これを記念して昭和六(1931)年に近津神社境内の東側、近津川に面した河岸に建立されました。碑文の執筆は画家・書家の谷筑水です。



頓野村青年団基本田碑
(頓野 近津神社東側)

直方の歴史と文化

文 榊 正 澄

文化財に関する問い合わせ…文化・スポーツ
推進課社会教育係(TEL 25-23326)

人の動き

■人口 55,941人(－297) ■世帯数 27,383世帯(+95)
[うち外国人572人]

男 26,377人(－181)
女 29,564人(－116)

令和3年12月末現在
()は前年同月との比較

<発行>直方市

〒822-8501 福岡県直方市殿町7番1号

URL…http://www.city.nogata.fukuoka.jp/

<発行日>毎月1日(月1回)

<編集>秘書広報課秘書広報係

TEL…(0949)25-2236 FAX…(0949)22-5107

E-MAIL…n-koho@city.nogata.fukuoka.jp

<印刷・制作>株式会社ワールドプリンティング



市ホームページ

UD FONT

インターネット
情報提供サービス

SNSやウェブサイトで様々な情報発信を行っています。ぜひ、ご覧ください。

直方市Instagram



さあ、あなたもフォロー!

アプリ「マチイロ」



市報をアプリで配信中!

直方市公式LINE



直方市と友だちになろう!

情報メール「つながるのがた」



緊急情報、イベント情報など

直方市バーチャルミュージアム



直方の文化を隅々まで